

2019年度 募集要項（日本人学生向け給与奨学金）

当会へ直接の応募はできません。必ず大学の担当課へ申請願います。

目的	健康かつ学業優秀でありながら、経済的理由のため就学が困難な者に、奨学金の給付を行い、将来社会に貢献しうる人材を育成する
応募資格	指定大学の理工系学部、研究科に在学する日本国籍をもつ学生。応募時点の年齢30才未満。人物・学力に優れ、健康である者。他の奨学金との併給可。但し聴講生、日本学術振興会特別研究員採用者は不可。また当会の奨学金を過去に受給した者は不可。
指定大学	73校（五十音順） 秋田大学、茨城大学、岩手大学、宇都宮大学、愛媛大学、大分大学、大阪大学、大阪市立大学、大阪府立大学、岡山大学、お茶の水女子大学、学習院大学、鹿児島大学、金沢大学、関東学院大学、北見工業大学、岐阜大学、九州大学、九州工業大学、京都大学、熊本大学、群馬大学、慶應義塾大学、工学院大学、神戸大学、埼玉大学、佐賀大学、静岡大学、芝浦工業大学、首都大学東京、上智大学、信州大学、成蹊大学、千葉大学、千葉工業大学、中央大学、筑波大学、電気通信大学、東海大学、東京大学、東京海洋大学、東京工業大学、東京電機大学、東京都市大学、東京農工大学、東京理科大学、同志社大学、東北大学、徳島大学、鳥取大学、富山大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、長崎大学、名古屋大学、名古屋工業大学、新潟大学、日本大学、日本女子大学、兵庫県立大学、広島大学、福井大学、北海道大学、宮崎大学、室蘭工業大学、明治大学、山形大学、山口大学、山梨大学、横浜国立大学、立命館大学、琉球大学、早稲田大学
募集人数	大学の担当課に通知します。
募集時期	4～5月にかけて募集します。具体的には指定大学の担当課に確認願います。
応募方法	所定の申請書により大学担当課へ申請下さい。大学内での選考などがありますので、当会への直接の応募はできません。詳細は大学の担当課に確認願います。
奨学金額	年額30万円
選考決定	6月中旬開催の当会選考委員会で決定し、大学の担当課経由で本人へ通知します。採用者には「奨学生採用通知」、「誓約書」を交付しますので、大学担当課にて受取下さい。誓約書は本人および保証人が署名・捺印の上、大学担当課経由で当会に提出して下さい。
辞退	奨学金を辞退する場合は、大学経由で当会所定の「辞退届け」を提出下さい。辞退の事由によっては奨学金を返金頂きます。
支給方法	原則7月に奨学金全額を一括して本人の口座へ送金します。
奨学生の義務	奨学金を有効に使い、学業に励み、学生にふさわしい生活をするとともに、将来社会的に有益な活動を目指すことに努めてください。
退学・休学	奨学金の対象期間は2019年4月から1年間ですが、この間に退学、休学する場合は支給した奨学金を返済頂きます。
面談	受給決定後、10～12月頃に当会担当者が各大学を訪問し、面談しますので出席下さい。具体的な日時は別途大学の担当課経由にてご連絡します。

給与奨学金申請書(日本人大学生・大学院生向け)

必ず大学の担当課へ申請して下さい。当会へ直接の応募はできません。

2019年度

記入日 2019年 月 日		奨学生No. K						
在籍大学	通学先 キャンパス	<input type="checkbox"/> 学部 年 <input type="checkbox"/> 修士課程 年 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 年 <input type="checkbox"/> 博士課程 年 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年 その他: 年						
学部・研究科・府		(正確に記入)						
学科・専攻		男・女						
写真 (枠ぴったりのサイズ でなくても可)	(フリガナ)	現在の過程の入学・卒業年月						
	氏名	入学	20 年 月					
	生年月日 (西暦)	卒業見込	20 年 月					
	本人住所	<input type="checkbox"/> 自宅通学 <input type="checkbox"/> 自宅外通学 携帯番号						
	eメール アドレス							
本人の履歴 (高校から)	学校名・学部名 (予備校・浪人・職歴も記入)	入学/入社年月	卒業/中退/退社年月					
親元住所	〒	持家・借家	電話: — — 固定電話がない場合は父・母どちらかの携帯: 父/母/その他() — —					
家族の状況 (既婚独立の兄弟も記入)	続柄	氏名 ※1	年令	職業(勤務先名・自営の場合は業種・屋号)、学校名(学年)	昨年收入	今年見込	家族住所に※2 同居/別居	
	父				万円	万円	同・別	
	母				万円	万円	同・別	
	※1 父母が死亡、生別の場合も上記氏名は記入し、その年月を記入すること ※2 同別居:上記親元の住所に住んでいる者は同居・住んでいない者は別居							
								同・別
								同・別

奨学金希望の理由 (家庭の事情等を具体的に)	
推薦欄	<p>表記の学生は、人文学業とも優秀であり健康で貴会の奨学生に推薦します。</p> <p style="text-align: right;">2019 年 月 日</p> <p>公益財団法人 日揮・実吉奨学会 理事長殿</p> <p style="text-align: center;">大学名</p> <p>推薦者 学長または 学部・研究科長 _____ ㊞</p>
	<p>誓約書</p> <p>1. 奨学金を有効に使い、学業に励み、学生に相応しい生活をするとともに、将来社会に有益な活動を目指すよう努力します。</p> <p>2. 休学・退学・諸規則違反などにより、奨学金の返金を求められた場合はこれに従います。</p> <p>3. 住所、電話番号など変更がある場合は大学を經由して速やかに連絡します。</p> <p>4. 申請書記入の個人情報 は貴奨学会の奨学金に関する業務に限り使用することを了承します。</p> <p style="text-align: right;">氏名： _____ ㊞</p>

振込先の銀行口座
(応募者の名義であること)

銀行名		銀行コード	
支店・出張所名		支店番号	
預金種目		口座番号 (7ケタ以下は前に0をつける)	□ □ □ □ □ □ □
口座名義(カタカナ)			

口座の項目については通帳に記載の通り正確に記入のこと

給与奨学金申請書の記入方法

申請時の事実をありのままに、わかりやすく記入して下さい。

記載すべきことが書かれていないとき、あるいは判読困難なもの等不備のある申請は、選考の対象から除外します。

また、記載内容が故意に事実と相違している場合は、採用を取り消すことがありますから正確に記入して下さい。

(1枚目)

在籍大学： 在籍する大学、専攻、課程、学年を正確に記入する。

写真： 写真欄のサイズで、6 ヶ月以内に撮影した正面脱帽半身像を貼る。(多少のサイズのずれは構いません)

本人住所： 家族(親元)と同居の場合も記入して下さい。〇〇マンション〇〇号室、〇〇方まで正確に、郵便番号、電話番号、携帯電話番号、メールアドレスも記入する。

親元の住所： 自宅・自宅外通学にかかわらず親元の住所、電話番号を記入し、持家・借家のいずれか該当のものを○で囲む。

本人の履歴： 高校以降の履歴を、年月順に空白期間のないように記入する。予備校・浪人期間、職歴(アルバイトは除く)も記入する。

家族の状況： 父母、兄弟姉妹等は、申請時の年齢、職業(勤務先名、自営の場合は職種・屋号)、学校名(専攻、学年)、同・別居は上記の親元に一緒に住んでいる者は同居、離れて住んでいる者は別居を記入し、父母の死亡・離婚・離別については、その年月を記入する。兄弟姉妹は全員(既婚者も)、祖父母は親元に同居している場合のみ記入する。父母の収入は昨年の収入(自営業の場合は前年度確定申告書における「所得金額」)、今年の収入見込み金額を記入してください。(収入証明書等の提出は不要です)

(2枚目)

奨学金希望の理由： 家庭の事情や家族の生活状況等が分かるよう具体的に記入する。

推薦欄(大学記入欄)： 本人が記入すべき事項を全部申請書に記入し、署名捺印した上で大学に提出し、大学にて学長あるいは学部長・研究科長の推薦を受ける手続きをして下さい。

本人の銀行口座： 採用された際、奨学金は本人の口座に直接振り込みますので、振込先の口座を通帳に記載されているとおりに正確に記入してください。ゆうちょ銀行の場合は口座番号の桁数(必ず7ケタで記入)に注意してください。

(個人情報取り扱い)

当会がこの奨学金申請により取得する個人情報は、選考作業や採用後に発生する奨学金業務に必要な範囲に限定して、使用いたします。

家 庭 調 査 書												
申 請 者	所 属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____										
	学籍番号	_____			性別	男・女	現住所	〒 _____ 市 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号 _____ (_____)				
	フリガナ	_____					家族住所	〒 _____ 市 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号 _____ (_____)				
	氏 名	_____										
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年 齢	職 業	在職 期 間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額			
		父				年			万円	万円		
		母					年		万円	万円		
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 ()										
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 ()										
	別 居 者 に ○ 印	続柄	氏 名	年 齢	学 校 名	設 置 者 別	学 校 種 別	通 学 別	控 除 額			
		本人			筑波大学	国立		※自 宅 自 宅 外	万円			
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円			
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円			
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円			
家 庭 の 特 殊 事	特別控除項目		控除有無									
	障害者がある世帯		※有・無	続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()							万円	
	その他											
本 人 の 状 況	家庭からの給付	月額 (千円)					認 定					
	アルバイト	月額 (千円) 内容 ()					総収入金額	① 万円				
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()					必要経費	② 万円			
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()					特別控除額	③ 万円			
	その他の収入	月額 (千円) 内容 ()					総所得金額	④=①-②-③ 万円				
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人		
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円		
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×1.00		

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のある世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。